イラッとした場面の KPI記録シート

週間記録 ／ 相手の考えと改善行動の共有、相談の遅れ・認識違いによる影響を振り返る

現場名：＿＿＿＿＿＿＿＿　監督：＿＿＿＿＿＿　職長：＿＿＿＿＿＿

記録期間：　　年　　月　　日 ～　　月　　日

1　起きた事実と相手の考えを確認し、次の改善行動を決める

イラッとした場面・起きた事実（自分の受け取り方と分ける）：

本人に確認した考え・事情／自分の考えとの違い：

共有した次の改善行動（誰が・いつ・何をするか）：

改善行動を確かめる時期・方法／相談する条件：

2　終業時に記録する

プロセスKPI：イラッとした場面で、相手の考えを確認し、次の改善行動を共有できた回数

結果KPI：相談の遅れや認識違いによって発生した手戻り・作業停止件数

日付	相手の考えを確認し 改善行動を共有した回数	相談遅れ・認識違いによる 手戻り・作業停止件数	場面・相手の考え／改善行動 手戻り・停止の内容と原因
／	回	件	
／	回	件	
／	回	件	
／	回	件	
／	回	件	
／	回	件	
／	回	件	
合計	回	件	

※ 回数：イラッとした場面で相手の考えを確認し、次の改善行動まで共有できた一連の機会を1回とします。
※ 件数：相談の遅れ・認識違いで手戻りや停止が起きた事案を判明日に1件。両方起きても同じ事案は1件。
※ 結果はイラッとした場面に限らず記録。他の原因による事案は除外。該当なしは「0」、休日は「休」。

3　気づきと、相談しやすい伝え方・仕事の進め方に見直すこと

人を責めるためではなく、相手の考えを確かめ、改善行動を共有して手戻り・作業停止を減らすために使います。